



全農長野県本部情報／グリーン レーダー Vol.466

Contents

平成30年度事業計画骨子

A-Policy **重点事業方針**

- ・平成29年度 生産販売部営業課事業計画の進捗状況
- ・青山商事(株)との提携による衣料品事業開始

A-Reports／

・「第49回 信州フラワーショーウインターセレクション」開催…	7	・3月の動き	10
・第43回肉牛を育てる女性の集い	8	・3月のラジオ番組表	10
・JA長野県青年部協議会と意見交換会	8	・編集後記	10
・JXトレーディング(株)主催 VICTORY FORCEディスプレイコンテスト 協同経営SSが上位を独占!	9		

平成30年度 事業計画骨子

I J A全農長野基本理念

会員J Aとの一体的な事業運営により、生産販売から購買まで一貫する総合経済事業を通じて、J A組合員の営農と生活の向上に貢献します。

II 基本方針

1. 国内農業を取り巻く環境は、農畜産物の輸入増加、需要の減少に加え、気候変動等による生産状況への影響が生じており、経営規模の大小に係わらず農業所得の確保が課題となっています。

また、農業経営体の推移としては、家族的経営体が減少する一方、法人等の組織経営体が耕地面積を拡大しながら増加し、大規模経営体と小規模経営体の二極分化が一層鮮明になっています。

2. 農畜産物貿易交渉については、T P P協定が米国を除く新協定T P P 11として大筋合意、日欧E P A交渉が最終合意され、さらには2交渉以上に譲歩を求める日米F T A交渉への懸念等、予断を許さない状況となっています。

また、政府は、我が国の農業の持続的発展と農村振興を実現していくために、13項目からなる農業競争力強化プログラムを取りまとめ、「農林水産業・地域の活力創造プラン」を改訂しました。

3. このような環境のもと長野県本部は、「J A長野県長期構想・後期中期計画」における事業別・分野別指針としての「中期事業ビジョン（平成28～30年度）」に連動する中期事業計画（平成28～30年度）を確実に実践するとともに、自己改革強化策の取

り組みを加速化させ、J A・県域および子会社の統一した戦略のもと、効率的一体的事業運営体制により農業所得の増大および地域の活性化に取り組みます。

4. 更に、県本部グループのガバナンス体制・コンプライアンス態勢の再構築、県本部総合経営管理制の堅持により、部門別事業競争力強化と経営基盤の確立をはかり、県域結集の拡大と結集成果を反映したJ A・組合員へのメリット還元に取り組みます。

【事業運営の基本目標】

1. 長野県農業生産基盤強化と信州ブランドの確立
2. 営業力強化による顧客確保と仕入強化および生産流通コスト削減による生産者手取り最大化
3. J A・県域・子会社の一体化による営農・経済事業の競争力強化と経営収支の確立

【経営管理の基本】

経営管理体制の高度化と県本部総合経営管理制の堅持

III 経営方針

1. 総供給販売高計画

平成30年度	2, 7 4 4 億円
生産販売部	1, 5 9 8 億円
生産購買部	3 6 3 億円
畜産酪農部	3 1 4 億円
生活部	4 6 9 億円

※総供給販売高には内部販売を含みます。

2. 税引前当期利益

3 億3 千7 百万円（税引後1・9 億円）とします。

3. 奨励施策

施策の選択と集中をはかり、事業基盤の確立と担い手総合支援対策に資する重点的・効率的な事業奨励とします。

4. 事業管理費

業務の効率化により事業管理費の圧縮に努めます。

5. 機構・要員

J A・子会社との一体的な事業運営による農業生産基盤強化・販売営業力強化・購買競争力強化等の確実な実践をすすめるため、事業横断的な総合対応力が発揮できる効率的・機能的な機構・要員配置とします。

6. 施設投資・システム開発・外部出資

財務の健全性を基本に置き、事業の将来展望・戦略性および必要性・費用対効果・緊急性を十分検討し、投資回収基準（3 年単黒・5 年累積解消・10 年投資回収）に沿ってすすめます。

IV 事業方針

1. J A長野県営農業

(1)平成30年の米政策転換の具体的方策に対応し、水田における園芸品目による複合経営を含めた経営提案を行うとともに、J A農業振興ビジョンの樹立と実践をすすめます。

(2)生産者手取りの向上に向け、多収穫・省力栽培などの普及・実践研究を行うとともに、気象災害に強い生産体制の整備をすすめます。

(3)担い手アンケートに基づくJ A別指導体制作りをすすめる。

J A・地域に応じた組合員対応ができるようJ Aとともに取り組めます。

(4)営農技術員の能力開発、現場対応力の向上に向けた研修体制の再構築をはかります。

(5)「J A長野県営農指導者会議」専門部4ブロック活動の現地検討会・研修会等により技術・販売・資材情報の共有化を行い、相互研鑽と推進力の強化をはかります。

(6)国のG A P動向を把握し、G A Pの考え方についての周知と長野県に則した導入手法について研究し、安全安心システムの普及拡大と信州農産物のブランド力向上を推進します。

2. 生産販売事業

(1)販売と連動した計画生産の推進や、適地適作に基づいた商品提案を実施します。生産基盤強化のため、良質な種苗の供給、多収穫・省力栽培の導入、施設化・

機械化推進等をすすめます。

- (2)重点実需者に対する県域一体となった総合品目による安定供給に向け、営業力の強化や契約的取引の拡充に努めます。また、機能の高い卸売会社との連携をさらに深め、価格形成力や物流機能を発揮し販売力を強化します。

- (3)JAとの連携により、集出荷・保管施設の効率的・広域的運用をはかり、系統集荷体制の向上をはかります。また、消費・需要構造の変化に対応するため、リパック・カット・保存・輸出などの機能のある取引先との業務提携を進め販路拡大と所得向上をはかります。

- (4)平成30年以降の米政策転換に対応した長野米販売計画により、実需者への直接営業の強化、一部銘柄の県本部買取り実施と県共計の早期精算により所得向上をはかります。

- (5)価格メリットの高い果実や、取

引先と連携した高付加価値米など、継続的に所得向上がはかれる輸出取引に取り組みます。

3. 生産購買事業

- (1)生産購買事業は、農業所得増大に向けて低コスト・省力型資材の開発・普及などでトータル生産コストの抑制に取り組みます。また、JA拠点事業（資材物流・店舗、農機センター）について、県域拠点とも連携した合理的・効率的な運営体制を検討・構築します。

- (2)包装資材事業は、材質や規格の集約・見直しによる低コスト化ならびに計画的製造・納品による価格メリット創出と安定供給に取り組みます。また、販売部署との連携強化により生産者・実需者ニーズを踏まえた機能性包材の開発・普及をすすめます。
- (3)生産資材事業は、仕入強化と価格折込を基本とした競争力ある資材価格の設定、予約率向上対

策による需要結集に取り組みます。大規模経営体の多様化するニーズに対応した資材の提案推進ならびにトータル物流コストの圧縮となる農家直行配送方式の拡大によるメリット還元をすすめます。

- (4)農業機械事業は、重点購買による県域推奨型式の機種拡大、共同利用形態（レンタル・リース事業）の活用、不用農機査定・買取の積極的実施による中古機流通の拡大を柱にコスト低減に取り組みます。また、協同経営は、業務の標準化・合理化を一層すすめ、収支確立と組合員サービスの充実に努めます。

- (5)施設住宅事業は、施主代行を基本とした提案型の事業推進、一級建築士事務所による専門性を発揮した設計・工事監理業務を中心に取り組みます。また、農業施設の高度化・再編への対応ならびに組合員の土地活用支援、住環境改善事業に取り組みます。

4. 畜産酪農事業

- (1)素畜供給体制の強化、空舎を利用した基盤づくり、ならびに導入支援対策の実施、農場HACCPやJGAP畜産版への取り組みを通して生産基盤の拡大強化をはかります。

- (2)信州産畜産酪農品のブランド販売強化に向けて、取引懇談会や販売促進キャンペーン、新たな商品開発等に取り組みとともに、銘柄畜産物の固定価格販売にも取り組みます。
- (3)飼料用米や未利用資源の活用による飼料コスト低減、中核農家への生産性向上指導、乳質改善巡回指導等により農業所得の増大を目指します。

- (4)地域畜産酪農センターの機能強化と新たな地域畜産酪農営農センターの設置について検討し、JAと一体となった営農指導体制を強化します。

- (5)県本部生産農場は、素畜供給、預託受け入れ、初妊牛供給など

の機能を発揮し、県内生産基盤の維持拡大に貢献するとともに、

経営体質の強化をはかります。

5. 生活事業

- (1)石油事業は系統結集による数量を背景とした仕入強化、農業用燃料支援対策拡充を実施するとともに、JA別SSマスタープランの実践により収支改善をすすめます。LPガス事業は保安業務の確実な実施と、ガスライフアドバイザー（GLA）の拡充など営業体制強化に取り組みます。

- (2)SS協同経営事業は、燃料油及びカーメンテ収益の確保によるSS競争力の強化とJAの総合力を活かした魅力ある事業展開により収支改善に取り組みます。また、お客様視点に立ち、基本接客の徹底、SS活動の定着、作業技術の向上により、地域の組合員並びに利用者に愛される店舗作りに努めます。

- (3)自動車事業は、県域結集をすすめるとともに、新銘柄の導入も視野に入れた営農車の拡大をはかり、収支改善に取り組みます。

- (4)宅配事業は、利用者満足度向上と推進体制強化によりおまかせコース会員の確保に努めるとともに、JA・県域の事業収支改善をすすめます。家庭薬事業はコンプライアンス態勢を強化し、巡回体制の強化により普及拡大に努めます。組織事業は、重点品目の取扱ひ拡大と、量販店連携による事業強化をすすめます。

- (5)セレモニー事業は、葬儀の小規模化・簡素化、個性化や競合激化に対応するため、「JA総合事業」と「JA虹のホールグループ」が連携する葬儀相談体制の強化をはかり、次世代のJA組合員（利用者）につながる事業体制を構築します。

6. 経営管理

- (1)県域結集および事業競争力の強化によるJA・組合員へのメリット還元を基本とする県本部総合経営管理制を堅持します。

- (2)事業環境の変化を踏まえ、県本部機能に見合う部門別収支の検証と見直しを行うとともに、事業管理費を精査し管理コスト節減に努め、経営の安定化をはかります。

- (3)業務に係る法令研修や相談機能を充実させるとともに、一斉事業点検検証や内部業務点検を通じて、コンプライアンスの推進と重点管理すべきリスク（食品表示、労務管理、法令違反、労働災害等）の未然防止をはかり、更に発生時の迅速な対処を推進します。

- (4)県本部総合経営管理制を担う業務体制を維持するとともに、職員的能力開発・育成をはかり、JA・子会社との一体的事業遂行のための多様な雇用形態によ

る要員体制を確立します。

- (5)JA長野県グループおよび行政機関等との連携を強化し、効果的な広報活動と、地域に貢献する組織広報をすすめます。

- (6)子会社は、内部統制システムの整備およびコンプライアンス態勢の推進による健全経営管理をはかるとともに、JA経済事業補完機能の強化をすすめます。

営業課

平成29年度 生産販売部 営業課事業計画の進捗状況

平成29年度事業概要

平成29年度事業は供給高計画150億円を目標に、果実、野菜、きのこ、花きの各品目で事業推進して参りました。

特に重点実需者（生協、量販店、加工・業務顧客等）との連携を強化し、本県産青果物・花きの売場確保と信州ブランドでの総合宣伝および実需者開拓に努めました。

果実は定番商品の継続と新規企画の提案に取り組み、夏場のスイカ・モモについては伸長できましたが、主力のリンゴは大口取引の企画変更や市場流通への転換により減少となりました。野菜は契約取引による安定販売により販売実績の確保に努めました。また、業務加工用途を拡充させ、生産者と実需者ニーズに応える業務展開を図りました。きのこは実需者への事前企画提案の徹底と新規実需者の開拓により、数量ベース

での拡販に努め、最需期である12月の単月販売金額は609百万円（前年比104%）となりました。花きは既存品目の取引拡大や新規品目の提案により販売実績を伸ばすことができました。

平成29年度重点取り組み事項

- 顧客確保に向けた積極的営業展開**
重点取引先を拡大し、通常の取引の円滑化を図ったほか、イベント等の販売協力にも積極的に取り組み、信頼関係を醸成することで顧客確保を図りました。
特に総合品目産地の強みを生かし、トラックセール等の集客力の高い販促企画を実施し、店舗担当者のみならず店舗利用のお客様の確保もできるような企画提案を実施しました。
- 商品供給力の強化による信頼関係構築**
生産状況に応じ各産地との調整
- 商品提案力の充実・強化**
顧客が求める規格・形態での商品作りのほか、セット商品や大容量規格商品など、商品提案力を充実にさせ、顧客の売上向上に貢献しました。
また、営業課を基点とした生産振興品目として、カラフルミニトマト、紫ハクサイなどの新品目を提案し取扱量の拡大を図りました。
- 長野県産農産物の高付加価値化**
消費者の視点に立ち、等階級や入り数を柔軟に変化させた商品を開発し長野県産農産物の高付加価値化を図り、生産者手取り向上に貢献しました。また、食品メーカーとのタイアップ企画で売り場の活性化や商品PRを行い、長野県産の認知度向上を行いました。



イベント販売協力（㈱オークワ様トラックセール）

生活課

青山商事(株)との提携による衣料品事業開始

全農長野県本部生活課では、「洋服の青山」などを展開する青山商事(株)との提携による衣料品の取扱いを開始しました。JA木曽が平成29年7月に取り扱いを開始し、その後、JA大北、JA松本ハイルンド、JA松本市、JAあづみ、JAアップル、JA信州うえだ、JA洗馬と、現在8JAに拡大しています。

取組方法は、①JAが青山商事(株)の発行するチラシを、訪問日などを利用して配布。取り扱いを組合員にPRし、店舗利用を促進します。②組合員が「洋服の青山」店舗にチラシを持参すると、その場で入会金・年会費無料の「JA専用カード（タイアップカード）」が発行されます。③PRチラシは、入学・就職シーズン、クールビズ（夏用）、秋冬物などの需要期に合わせ、年3回定期的に配布します。

組合員の皆様が受けるメリットとしては、①量販店の幅広い品揃えから、年間を通じて商品を購入できます。②商品購

入時にJA専用カードを提示すると、「洋服の青山」店内の全商品が10%割引になります。チラシや店内の割引価格の商品も、さらに10%割引となります。この割引きは、組合員と一緒に来店するご家族にも適用されます。③全国に約800店舗ある「洋服の青山」のどの店舗で購入しても、この特典を受けられます。

紳士服のイメージが強い「洋服の青山」ですが、最近は婦人服の品揃えも充実し、女性の来店も増えているそうです。衣料品は、流行や季節、気候など様々な要因により供給高や利益高が左右され、在庫口スも多い品目ですが、こうしたリスクがないためJAにとっても大きなメリットがあります。

これからは入進学・就職シーズン。多くの皆様の利用が期待できる時期です。今後も県下の組合員とご家族が特典を享受できるよう、取り扱いJAの拡大を目指します。

組合員限定 AOYAMA タイアップカード のご案内

JAは洋服の青山と新規提携をいたします。ご来店の際は必ずこのチラシをご持参下さい。

JA専用カードで 10%割引

お近くのAOYAMAへご来店いただき、登録用紙に必要事項をご記入いただくと専用カードを作成。その日から10%割引いたします。なおご来店時にはJA専用チラシをお持ちください。

JA x AOYAMA タイアップカードのご案内

「JA x AOYAMA タイアップカード」ご入会ご利用の流れ

お近くの「洋服の青山」へご来店

登録用紙に記入

カードを発行 その日から特典をご利用いただけます

ご来店時に本チラシ及び本人確認書類をお持ちください。

入会金・年会費無料 洋服の青山店頭にて即日発行

※詳しくは各店舗係員にお尋ねください。

「第49回 信州フラワーショー ウインターセレクション」開催

農林水産大臣賞はJ A上伊那の 有限会社末広農園(アルストロメリア)が受賞

全農長野県本部とJ A全農長野花き専門委員会は2月1日(木)・2日(金)、J A南信会館(伊那市)で「第49回 信州フラワーショー ウインターセレクション」を開催しました。

気象変動による栽培管理への影響が目立ち、特に今年は大寒波が訪れる中での開催となりましたが、生産者・関係者の努力により372点(昨年410点)が出品されました。甲乙つけがたい出品物の中で農林水産大臣賞を受賞したJ A上伊那の(有)末広農園のアルストロメリア「エレガンス」は、出品数の7割を占め全体的なレベルが高いアルストロメリアの中でも特に「発色と草姿のバランスが良い」と高く評価されました。

今回は、長野県が日本一の生産量を誇るアネモネの出品数も多く、花木類ではレンギョウ、桜、アカメヤナギの出品もあり、県内において多彩で高品質な切花や花木類が栽培されていることを来場者に知っていただく良い機会となりました。

また、地元の小学生を招待したフラワーアレ

ンジメント教室や、保育園児を招待した会場見学による「花育」にも取り組みました。参加した小学生と園児は、県内で生産された鮮度抜群の切花を持ち帰り、家族で会話が弾んだことと思います。

信州フラワーショーは、「生産者の栽培技術を競い、技術の向上と本県花き産業の振興を図る」とことを目的に、毎年夏と冬に開催しています。今後も長野県産花き類の生産振興と生産技術の向上、消費拡大につながる取り組みを進めます。



関東・中京・関西の花き卸売市場および県内関係機関代表の審査員による審査

第49回信州フラワーショー ウインターセレクション入賞者

賞		品目名	品種名	受賞者	J A名
農林水産大臣賞	アルストロメリア	エレガンス	(有)末広農園	上伊那	
	アルストロメリア	ゴールド	酒井 弘道	上伊那	
農林水産省生産局長賞	アルストロメリア	ミストラルプラス	平出 千里	信州諏訪	
農林水産省合連会長賞	アルストロメリア	バーティ	小澤 信義	上伊那	
全国農業協同組合連合会長賞	アルストロメリア	ピンクティアラ	有賀 美和	上伊那	
長野県知事賞	アルストロメリア	モナリザ	(有)信州グリーンサポート	上伊那	
	アルストロメリア	ローレンス	中原 睦男	上伊那	
日本花き卸売市場協会会長賞	アルストロメリア	ピンクティアラ	多田 頼充	上伊那	
フラワー産業議員連盟会長賞	アルストロメリア	ハニーソフィア	古畑 雅一	上伊那	
長野県農業協同組合中央会長賞	アルストロメリア	ピンクサブライズ	中村 邦雄	信州諏訪	
	アルストロメリア	バシフィック	はとざわ園芸	信州諏訪	
伊那市長賞	アルストロメリア	ジャイアントレンギョウ	飯島 守	上伊那	
	アルストロメリア	バリー	久保田卓二	上伊那	
全国農業協同組合連合会長野県本部会長賞	アルストロメリア	マインストーン	小笠原秀樹	上伊那	
	アルストロメリア	ピンクティアラ	西尾 裕幸	上伊那	
フラワーショー運営委員長賞	アルストロメリア	マッザ	宮下 敦	上伊那	
	アルストロメリア	ブライズメイド	大矢 博	上伊那	
伊那市長賞	アルストロメリア	テンプレーション	赤羽 今男	上伊那	
	アルストロメリア	ミストラルプラス	篠原 万郎	上伊那	
長野県青年部協議会と意見交換会	アルストロメリア	日本レンギョウ	伊藤 哲	上伊那	
	アルストロメリア	バレー	伊藤 千代子	信州諏訪	
長野県青年部協議会と意見交換会	アルストロメリア	ゴールド	柴田千代子	佐久浅間	
	アルストロメリア	クリア	柳澤 功太郎	上伊那	
長野県青年部協議会と意見交換会	アルストロメリア	パシフィック	清水 千博	上伊那	
	アルストロメリア	ピンクサブライズ	矢野 源彦	上伊那	
長野県青年部協議会と意見交換会	アルストロメリア	リモンチェロ	永井 智	上伊那	
	アルストロメリア	ピンクティアラ	柳澤 一夫	信州諏訪	
長野県青年部協議会と意見交換会	アルストロメリア	ゴールド	唐澤 勲	上伊那	
	アルストロメリア	バレー	古畑 英俊	松本ハイランド	
長野県青年部協議会と意見交換会	アルストロメリア	マッザ	小林 靖直	上伊那	
	アルストロメリア	アリナ	伊藤 修司	上伊那	
長野県青年部協議会と意見交換会	アルストロメリア	シルバン	依田 政志	佐久浅間	
	アルストロメリア	ミストラルプラス	上原 亮一	信州諏訪	
長野県青年部協議会と意見交換会	アルストロメリア	バレー	久保田 寛	ながの	
	アルストロメリア	バレー	阿部 和博	佐久浅間	

仲間づくりと日頃のねぎらいに 「第43回肉牛を育てる女性の集い」

J A長野県・信州肉牛生産販売協議会と全農長野県本部畜産課は1月30日(火)と31日(水)の2日間、「第43回肉牛を育てる女性の集い」を諏訪市で開きました。仲間づくりと日頃のねぎらいを込めて年に一度開催しており、肉牛の肥育や繁殖を手掛ける50名の女性が県内各地から集合しました。

研修会では「元気の出る肉用牛経営と健康寿命の更なる延伸について」と題し、信州DMH研究所を主宰する桜井恒利先生がユーモアを交えながら、人生を豊かにするコツ「G・N・P(元気で・長生きで・ぼつくりと)」を伝授し、女性陣の笑顔が溢れました。

分科会では10〜12名のグループに分かれ、日頃の飼養管理の悩みや苦勞を語り、互いにアドバイスをして思いを分かち合いました。

女性の皆さんは普段、家畜市



信州DMH研究所の桜井先生による講演

分科会で活発な意見交換 「J A長野県青年部協議会と意見交換会」

全農長野県本部は2月1日(木)、J A長野県青年部協議会(県青協)との意見交換会をJ A長野県ビルで開きました。地域農業の担い手である県青協の役員や当県本部の役員など45名が出席しました。今年度は作物別に「自分の農業経営に関する問題点と課題」をテーマに分科会を行い、栽培技術の向上やブランド戦略等の課題について、地域の実情や現状の取組み、今後に向けたアイデアなど忌憚りの無い意見を出し合いました。

果樹の分科会では「シャインマスカットの品質格差が始めている。ブランド力が低下しない取組みが必要」、水稲では「価格安定のため、農業再生協議会で示された生産量を守ることが大事」、野菜花きでは「全農と生産者のつながり、情報交換が今後一層深まることを希望」、畜産酪農では「意欲はあるが土地・畜舎がない若手に、廃業した施設を紹介するなど、個別支援をお願いしたい」、きのこでは「価格安定が一番の課題。きのこの機能性を前面に押し出したPRで有利販売につなげたい」などの意見が出されました。



分科会での意見発表をする県青協の小木曾会長

JXトレーディング(株)主催 VICTORY FORCEディスプレイコンテスト 協同経営SSが上位を独占！

ENEOS バッテリー「VICTORY FORCE」の販売強化キャンペーンとディスプレイコンテストが12月1日(金)～1月31日(水)の2ヶ月間で行われました。

協同経営SSでは日頃からクレンリネス(美化活動)とアピアランス(店頭告知)は重要項目と位置づけし、お客様に「最適な空間を提供できる店作り」を目指しています。

ディスプレイコンテストには長野県、埼玉県、山梨県の3県から51SSのエントリーがあり、その中で協同経営SSの南長野公園前セルフSSが最優秀賞(1位)、優秀賞(2位、3位)もアイロードあなんSS、東部中央SSが獲得し、上位を独占致しました。SSの獲得票は僅差、4位以下を大きく引き離しの圧倒的勝利となりました。

春先のオイルディスプレイコンテストでも、JA上伊那のグリーンロード西箕輪SSが優勝しており、日頃の活動が成果として表れると共に、私たち

の目指す店作りが確信へと変わりました。

今後とも四季や地域を意識した特徴のある店内装飾や、キャンペーン商品をお客様の観点で考え、分かりやすい告知など創意工夫した店舗作りを行います。



最優秀を獲得した南長野公園前SSのディスプレイ

給油のみならず、たまには店内を覗いてみてはいかがですか？46SS、様々な工夫を凝らした店内装飾となっています。

スタッフの笑顔と最適な空間で皆様を「お・も・て・な・し」いたします。

スタッフのコメント



今回は来店してくださったお客様が、バッテリートラブルに遭わないよう、目に留まるような大きい字と色使いで、キャンペーン価格にPOPを作成し、掲示しました。

お出かけ前に“エンジンがかからない”“タイヤの空気が減ってる”など、トラブルが起こらない様、お客様の安心カーライフをサポートします。すぐに点検を行える環境と豊富な在庫量、交換時には快適に過ごせる広く暖かいサービスルームと笑顔のスタッフがお客様をお出迎え致します！

JAグリーン長野 南長野公園前スタッフ一同

「VICTORY FORCE

ディスプレイコンテスト結果」

●最優秀賞(1位)

JAグリーン長野 南長野公園前SS

●優秀賞(2位)

JAみなみ信州アイロードあなんSS

●優秀賞(3位)

JA上伊那 東部中央SS

JA全農長野の事業現況

平成29年度1月末部門別実績表 (単位:百万円,%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
米	穀	15,723	105	115
果	実	34,100	97	97
野菜	花き	59,139	91	86
野菜種苗	センター	173	104	99
きのこ		17,305	87	94
営業		12,450	91	94
生産販売部計		138,891	94	93
包装資材		7,650	102	100
生産資材		9,761	102	99
農業機械		6,515	102	107
施設住宅		3,702	103	71
生産購買部計		27,627	102	96
畜産		11,722	110	99
三岳牧場		292	119	114
SPF繁殖センター		231	98	100
酪農		15,912	107	98
ハケ岳牧場		257	98	98
畜産酪農部計		28,414	108	98
燃料・ホームエネルギー		21,294	117	112
SS協同経営		9,014	119	112
生活		10,576	102	97
生活部計		40,884	113	108
長野県本部計		235,816	99	96

(内部販売高含む)

編集後記

二十四節気で2月後半は、「雨水」と呼ばれ、「降る雪が雨に変わり始め、積もった雪が解け始める頃」と言われていました。また農耕の準備を始める目安とされていたとあります。しかし今年は近年にないすごい低温。豪雪の地方が多く厳冬となっています。春はまだまだ遠い感じですが。今年は農耕も遅れ気味となるのでしょうか？心配です。

そんな中最近、畑に「ふきのとう」があり何度か食べています。蕾は小さいですが、あの独特の苦味やあくはしっかりとありおいしいです。てんぷらや味噌で炒めたりしてみました。一足早い春のいぶきを感じます。

でもしっかり食べたのは私だけ。娘には不評、残念です。

なんにせよ、このきびしい寒さは早くゆるんでほしい。本当に春がまじどおしいこの頃です。



(K)

3月の動き

改革推進・企画課	3/13(火)・15(木)	子会社臨時株主総会・取締役会 JA長野県ビル、JA中信会館
総務広報課	3/1(木)	地区別総代会(関東・甲信越) 東京都内
	3/17(土)	松本山雅FCホームゲームイベント(きのこPR) 中銀スタジアム(甲府市)
	3/27(火)	会員会議 JA長野県ビル
	4/1(日)	松本山雅FCホームゲームイベント(ベンチコート贈呈) アルウィン(松本市)
人事課	3/30(金)	定年退職者辞令交付式 JA長野県ビル
	4/2(月)	新採用職員入会式 JA長野県ビル
生産販売企画課	3/10(土)・11(日)	ふるさとのおにっぽんの食 全国フェスティバル NHK放送センター、 代々木公園(東京・渋谷)

2019年度
新採用職員
募集

明日の食と農を
支えるチカラ
募集します。

応募方法など詳細が決まり次第ホームページ等でお知らせいたします。
<http://www.nn.zennoh.or.jp/>

信州 JA全農長野

お問い合わせ先
光と水と水のハーモニー
管理課 小池・横山
〒390-8614 長野市大字南長野北石堂町1177番地3
TEL.026-236-2160 E-mail nn-jinji@nn.zennoh.or.jp

3月のラジオ番組表

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
3/6(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	1級フードアナリスト中島麻希さんのお話
3/13(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	運動と牛乳のお話(信州大学能勢博教授出演)
3/20(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	乳和食のレシピ紹介
3/27(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	牛乳クイズ
3/28(水) 11:50	SBCラジオ	坂ちゃんのずくせふりてい内「暮らしの応援団」	畜産酪農部からのお知らせ

全国の生産者が 共同購入に結集し 低価格を実現しよう!

生産現場の声

価格
を安く

**必要な
機能**
だけでいい

**快適・安全な
作業性**

**キャビン
エアコン**

**60馬力
クラス**

**自動水平
自動耕深**

倍速ターン

**前・後進
16段以上**
ハイスピード仕様

オートブレーキ

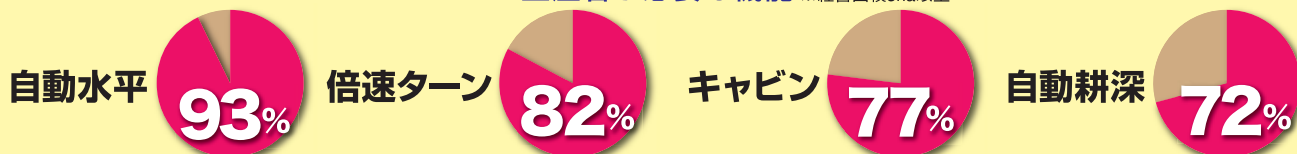
**重量
2.8トン以下**



JAグループは、生産現場の声を反映した
大型トラクターをメーカーに開発要求しました

約1万人の生産者アンケート

生産者が必要な機能 ※経営面積3ha以上



生産者モニターの声

千葉県 H様

40馬力のトラクターを
所有しているのですが、
60馬力クラスは作業がしやすいですね。
主変速6段、副変速2段で十分。



埼玉県 M様

キャビン・エアコンは
長時間作業には必須でしょうね。
1日作業が無給油でできるよう
にして欲しいですね。



石川県 B様

3トンを超えると湿田には厳しいね。
左右ブレーキの連結解除が
わずらわしいので、
オートブレーキは欲しいな。



共同購入トラクターのご相談・アンケートは
お近くのJAまでご連絡ください。

JAグループ / 全農



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

JA全農長野ホームページ <http://www.nn.zennoh.or.jp>

インターネットで産地直送「JAタウン」 <http://www.ja-town.com>

